

JET 活躍の現場から

千葉県松戸市

ベトナム人国際交流員 (CIR)

松戸市は、都心から約 20 キロメートル、電車で約 30 分の距離にあり、人口約 49 万人、首都圏の生活都市として発展を続けています。在住の外国人登録者数は、2018 年 5 月末日現在 1 万 6,133 人であり、県内 4 番目です。国籍別では、1 位が中国 6,836 人、2 位がベトナム 2,231 人、3 位がフィリピン 1,773 人であり、以下、韓国、ネパールと続いています。ベトナムは、5 年間で 4 倍となっており、ネパールとともに急激に増えている国です。このような状況の中で、「在住外国人に関する施策 (多文化共生施策)」、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした訪日外国人誘致施策」、この 2 つの施策の強化のため、2017 年度に、ベトナム人 CIR 1 名を任用しました。本市は、2015 年度より、オーストラリア人 CIR を 1 名任用しており、CIR 2 名体制で、本市の国際化の一翼を担ってもらっています。

ベトナムとの交流の懸け橋に

ベトナム人 CIR は文化観光国際課に在籍し、主に情報発信業務、市民交流業務、通訳・翻訳業務などを行っています。情報発信業務では、市の広報紙に、松戸市内で体験したこと・感じたことをコラムにし、月 1 回発信しています。それに加えて、本市の外国人向けサイト「International Portal」においても、記事作成、通訳・編集業務などを行っています。

市民交流業務では、年に 1 回市内で行っている「国際文化祭」において、参加した市民にベトナムの文化紹介などを行ったほか、市内大学生と日本語学校生徒との交流ワークショップに参加したり、ベトナムの料理教室を自ら企画して行う予定です。また訪日外国人誘致に対する取り組みにおいても、市内の日本語学校に在学しているベトナム人留学生を対象としたモニターツアーの通訳を行ったり、市内大学の観光学科の授業において、ベ

トナム人向けのツアー造成をアドバイスしたりと、さまざまな分野で活躍しています。

今後は、従来の情報発信業務、市民交流業務、通訳・翻訳業務だけでなく、在住ベトナム人やベトナム人観光客向けのブログをベトナム語版で作成したり、在住外国人との交流を深めることで、本市国際化を共に進めてもらいたいと考えています。



広報紙のコラム記事と CIR (レー・ガン・ハー氏)



ベトナム人留学生対象のモニターツアーで案内する CIR (前列左側が CIR)



国際文化祭で、ベトナム文化紹介ブースでの CIR